



Y's Men International

Japan East Region 2021-2022 理事通信

主題 “Think for the next generation.” 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
スローガン “We are stronger together than we are alone.” 「絆を深める時」

理事メッセージ

2021年-2022年東日本区理事
大久保知宏（宇都宮）



2022年を迎えて1か月を過ぎましたが、年明けからの新型コロナウイルス感染症オミクロン株の猛威に翻弄された日々を過ごしています。私は会社で感染症対策の本部長をしていますが、第5波までとは違う様相を示していて、毎日、社員本人の感染、社員家族の感染、社員の子どもの学校の休校などが発生していて、従来の丁寧な対策が間に合わなくて、検査もなしに在宅勤務といった対応状況になっています。こうしたことが全国で同時発生しているのだろうと思います。クラブの状況でも今号では今年度の下期半年報を掲載していますが、上期半年報と比較して2名減少という厳しい結果となっています。区では9月から100日間の会員増強キャンペーンを行いました、「対面」という機会が少ない状況で、それぞれのクラブの努力に対して、結果が伴っていないと考えています。こうした状況においても、各クラブにとって会員増強の機会を作っていくのが、区としての役割と考え、Change!2022推進委員会の企画でワイズ・ナイト・フォーラムを2月、4月、6月の3回実施することになりました。クラブ全体で会員候補について話し合っていて、フォーラムに誘うという動きをお願いいたします。

今号には、深尾地域奉仕・YMCA サービス事業主任におまとめいただいた昨年9月～12月の各クラブの奉仕活動の報告を掲載しています。その概要をアジア太平洋地域に報告しています。上述したような状況ではありますが、工夫と努力によって従来とは違う形でありながら、各クラブが奉仕活動をされていることが分かる資料となっています。会員増強はクラブが活性化し、魅力あるものになっていくことが一番です。新型コロナの波を上手に受け流しながら、楽しいクラブを作っていただきたいと切に願います。

2月は各種献金の振り込み期限となっています。衣笠書記の文書でお知らせしていますので、各クラブとも目標達成を目指していただきますようお願いいたします。区としては皆様からいただいた献金がどのように使われているのか、引き続き情報発信していきます。よろしくをお願いいたします。

最後に、今号の最後にアジア太平洋地域のプロジェクトの前号でお知らせした Food History 募集にご応募いただいたものを掲載しています。2月末まで募集期間が伸びましたので、ご応募ください。

強調月間「タイムオブファスト(TOF)」

国際・交流事業主任
山田公平(宇都宮)



TOF という略語は、ワイズの国際貢献活動の中でも主要なものです。

昨年度の、世界中で集められた TOF 献金は 110,341 スイスフランでした。日本円で言えば、約 1400 万円です。その内、東日本区からの献金は、76 万円になります。世界の献金の中で 5.5% を占めています。TOF は、国際的なワイズ活動を象徴するものだと思います。

TOF は、クラブ例会での食事を抜き、その相当分を国際協会に献金するというものです。国際協会は毎年各地からふさわしい地域支援プロジェクトを募集し、その中から審査で選ばれたプロジェクトに対し、1 年から 3 年間の支援をしていくというものです。私は YMC リエゾンという立場でこの審査委員の一人になっています。昨年応募のあった事業は 12 でその内 8 つのプロジェクトに対して 8,000 ドルから最大 15,000 ドルの支援金を提供しています。

プロジェクトは、ワイズ独自で実行するものもあり、多くは地元の YMCA とワイズが組んで提案していくようになっています。中には海外の YMCA かワイズがアフリカの YMCA やワイズと共同提案したり、先進国の国際協力活動に TOF プロジェクトとして応募するところもあります。例えばノルウェーのワイズがケニヤでの孤児のための学校支援をケニヤ YMCA と共に行うというものや、韓国 YMCA/ワイズとルワンダ政府が共同提案という形で貧困地域における豚飼育プロジェクトを実施しているものです。

一つとても興味深いプロジェクトを紹介します。南米のチリ、サンチアゴ YMCA とワイズが協働で行うもので、貧困地域でコロナ感染症の影響で仕事もない 50 人の女性と 30 人の若者に起業訓練のオンライン研修を行います。そして、良い起業計画を作った 5 つのグループに資金を提供し、仕事を通して収入を得るというプロジェクトです。今後の TOF のモデルケー

スになるのではと思います。

2 月は、TOF の強調月間です。ぜひご協力をお願いします。そして、日本でもアジアの国々のワイズ・YMCA と組んで TOF 提案を作ることを考えてみませんか？

強調月間「ヒールザワールド(HTW)」

国際協会 HTW 委員長
キム・ドンギュー(韓国)



YMI Heal the World

ヒールザワールド (HTW : 世界を癒そう) は、ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) の統一国際プロジェクト (UGP) です。これは、YMI がすでに持っているリソースを結集する包括的なプロジェクトです。私たちは、共通のニーズを特定し、メンバーのスキルや持てるものを、調整したプロジェクトに活用します。

その第一歩として、私たちは中核となる対象分野を決定しました。ヒールザワールドは、保健・医療ケア、恵まれない地域での建設・改修、緊急資金、救援活動などを提供します。また、教育、環境や最近インドやラテンアメリカで実施したような新型コロナウイルスの支援活動も含まれます。

第 2 段階として、HTW ネットワークを作りました。HTW ネットワークは、特定のことがらのためにオンラインプラットフォームでつながったワーキンググループです。HTW ネットワークは、私たちの運動の中で、思いやり、つながり、協力を促進するものです。6 つの主要なグループが発足しています。ブランディングと広報、教育、国際ボランティア、医療サービス、救援と復興、SDGs 推進です。

3 つ目のステップでは、共通言語、キーワード、共有イメージなどの全世界的なメッセージ戦略を用いて、共通のテーマで行われるプロジェクトの実施を効果的に広報し、私たちのグローバル

な活動を促進、アピールします。

ヒールザワールドを通じて、YMI にふさわしいインパクトをどのように生み出すのでしょうか？

私たちは、グローバルなボランティア活動によってインパクトを与えていきます。国際的なチームがスキルを持ち寄り、文化的な理解を深めることで、多角的な経験をすることができます。外部からの資金を増やすことで、リソースの配分を可能にします。

世界中での YMI の成果を見ることで、モチベーションと積極的な関与を高めることができます。入会候補者にとって、より魅力的な存在になることもできます。

プロジェクトが増えれば知名度が上がり、会員拡大につながり、より多くの人的・資金的リソースが確保されるという好循環が生まれます。また、全ての地域の YMCA との実践的な協働の扉を開くものであるとも捉えています。

各種献金について

書記
衣笠輝夫



毎年2月になると各クラブで各種献金について考え、決めて送金する時期になります(送金期限は2月15日)。任意ながら数多くある献金の目的や使途について理解を深めることで、より積極的に「恵みの奉仕」と考えられるようになりたいものです。ワイズメンズクラブの献金には、地域奉仕、Yサ分野で「CS、ASF、FF」があり、国際・交流分野では「BF、TOF、EF、RBM、YES」があります。2021-2022年度から新しくユース分野で「ユース活動資金」が加わりました。又基金としてPWALP(ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産基金)、JEF(東日本区ワイズ基金)があります。このうちBF(ブラザーフードファンド)、TOF(タイム

オブファスト)、EF(エンダウメントファンド)、RBM(ロールバックマラリア)、YES(ワイズ新クラブ設立支援基金)に関してはワイズHPの「国際・交流」の国際献金として山田国際・交流事業主任がこの五つの献金の詳細についてわかりやすく解説されていますのでご参照ください。又地域奉仕、Yサ分野のCS(コミュニティーサービス)、ASF(アレキサンダースカラシップファンド)はワイズHPの「奉仕活動」に詳細が記載されています。FF(ファミリーファスト)はハンドブックP138に記載されている通りTOFを家庭内や知人・友人に呼びかけて行う献金で、使途は主にHIV/AIDS啓発活動の資金として用いられます。

2021-2022年度から新しく加わったユース分野の「ユース活動資金」(500円/人以上)についてですが、ユース事業委員会のYIA活動(若者の参画・活動)資金は従来、ロースターの各クラブページに載る広告料でした。この広告料は「ハンドブック&メンバーシップロースター」のデジタル化に伴い廃止されましたのでそれに代わるものです。YIA活動は主にユースボランティア・リーダーズフォーラム以外のユースに関わる活動で、オープンフォーラムY、東日本区大会ユース登録費補助、同大会ユースアワー参加交通費補助、ユースコンボケーション参加費補助等があります。ユース育成に力を注ぐYMCAを支援する団体としてぜひ覚えてほしい献金です。全ての献金の詳細と使途をここに書くことはできませんが、ワイズHPやハンドブック&メンバーシップロースターに記載されていますので、ご参照いただき理解を深めていただければと思います。

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
2021-2022 年度 [後期] 現勢

2022.1.1現在

2022/1/31報告分

部 名 クラブ名	2020 1.1	2020 7.1	2021 1.1	2021 7.1	2022.1.1			直近 増減
					入会	退会	差引	
北海道部								
札幌	8	8	8	8	1	0	9	1
北見	11	11	11	11	0	0	11	0
十勝	17	18	18	18	0	0	18	0
札幌北	9	9	9	8	0	0	8	0
4	45	46	46	45	1	0	46	1

北東部								
仙台	15	13	13	14	0	0	14	0
前橋	7	7	7	7	0	0	7	0
宇都宮	34	31	31	32	1	1	32	0
仙台青葉城	15	14	14	13	0	0	13	0
*足利	1	1	3	3	0	0	3	0
*会津	5	5	5	5	0	1	4	-1
宇都宮東	8	8	7	7	0	0	7	0
那須	6	6	6	6	2	1	7	1
もりおか	14	14	13	14	0	0	14	0
仙台広瀬川	16	15	15	14	0	0	14	0
石巻広域	18	18	22	20	2	0	22	2
11	139	132	136	135	5	3	137	2

関東東部								
東京江東	21	22	22	21	0	0	21	0
千葉	15	14	11	11	0	0	11	0
東京グリーン	17	16	16	16	0	1	15	-1
埼玉	7	8	8	8	0	1	7	-1
東京北	14	12	12	11	0	0	11	0
所沢	9	11	11	11	0	0	11	0
東京ひがし	15	15	15	13	0	1	12	-1
川越	11	10	10	10	0	0	10	0
茨城	9	9	9	9	0	0	9	0
東京ベイサイド	16	15	15	14	0	0	14	0
千葉ウェスト			8	8	1	0	9	1
11	134	132	137	132	1	3	130	-2

東新部								
東京	26	27	27	23	1	0	24	1
東京むかで	12	11	12	12	2	3	11	-1
東京世田谷	11	12	13	14	0	0	14	0
東京町田コスモス	8	8	8	8	2	1	9	1
東京センチニアル	8	8	8	8	0	0	8	0
東京多摩みなみ	14	12	12	10	1	1	10	0
東京町田スマイリング	12	10	9	9	0	4	5	-4
7	91	88	89	84	6	9	81	-3

部 名 クラブ名	2020 1.1	2020 7.1	2021 1.1	2021 7.1	2022.1.1			直近 増減
					入会	退会	差引	
あずさ部								
甲府	35	33	33	30	0	0	30	0
東京山手 (2020年6月解散)	11							
東京西	13	12	12	12	0	0	12	0
東京武蔵野多摩	12	11	11	10	0	0	10	0
*松本	11	10	10	10	1	0	11	1
東京サンライズ	16	19	19	18	0	0	18	0
甲府21	37	38	43	48	4	1	51	3
東京八王子	16	13	13	13	0	1	12	-1
東京たんぼぼ	9	9	9	9	0	1	8	-1
*富士五湖	11	11	11	11	0	0	11	0
*長野	9	10	10	10	1	3	8	-2
10	180	166	171	171	6	6	171	0

湘南・沖縄部								
横浜	12	12	11	12	0	0	12	0
*沖縄那覇 (2021.6解散)	1	1	3					
鎌倉	9	8	9	9	2	0	11	2
横浜とつか	13	12	12	12	0	1	11	-1
厚木	16	15	13	12	0	1	11	-1
金沢八景	13	12	11	11	0	0	11	0
横浜つづき	18	17	17	16	0	0	16	0
*沖縄 (2021.6解散)	15	15	12					
横浜つるみ	9	9	9	10	1	0	11	1
7	106	101	97	82	3	2	83	1

富士山部								
*熱海	47	45	45	43	2	2	43	0
*沼津	15	15	15	15	0	0	15	0
*伊東	24	18	18	18	0	1	17	-1
*三島	12	11	10	8	0	0	8	0
*下田	7	7	7	6	0	0	6	0
*熱海グローリー	15	13	13	15	0	0	15	0
御殿場	24	21	21	14	0	0	14	0
富士	16	15	14	13	1	0	14	1
富士宮	20	20	19	19	0	1	18	-1
9	180	165	162	151	3	4	150	-1

東日本区合計	2020 1.1	2020 7.1	2021 1.1	2021 7.1	2022.1.1			直近 増減
					入会	退会	差引	
総クラブ数	61	60	61	59	クラブ数			59
総会員数	875	830	838	800	25	27	798	-2

* 印のクラブは、担当主事がないか、または在籍していても
複数クラブ担当のため、当該クラブの人数には含めません。

東日本区からのお知らせ

1 月度新規入会者

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者
22/1/1	東新部	東京多摩 みなみ	佐々木清勝	石田孝次
22/1/15	関東東部	所沢	小林勉	大澤和子
22/1/15	関東東部	所沢	宮地輝子	大澤和子
22/1/16	関東東部	所沢	小林茂和	大澤和子
22/1/16	関東東部	所沢	小林恵子	大澤和子

JEF 献金

献金日	部	クラブ	献金者	金額
22/1/21	あずさ部	東京武蔵 野多摩	板村哲 也	¥10000
22/1/28	富士山部	沼津	小林隆	¥10000

ミャンマー募金

献金日	部	クラブ	献金者	金額
22/1/7	北東部	仙台青葉城		¥50000

累計¥135000

熱海災害募金

累計¥765088

2 月の主な行事

- 2月3日 次期引継ぎミーティング
- 2月4日 常任役員会
- 2月12日 アジア太平洋地域年央会議
- 2月15日 後期区費納期
- 2月15日 各種献金納期 (クラブ→部)
- 2月18日 文献・組織検討委員会
- 2月21日 法人推進委員会
- 2月24日 2月度 EMC 事業委員会

YMCA 報告

日本 YMCA 同盟協力主事/担当主事
光永尚生(三島)



1 世界の YMCA のトピックス

■"2022 年"そして "その先"を一緒に旅しよう・世界 YMCA 同盟総主事新年メッ

セージ (日本語版)

2022 年のはじめに寄せられたメッセージ動画。

「世界は YMCA のようなネットワーク、”家族”を必要としています。若者を育てるために、そして、地域社会の創造と再構築のために」。

■COP26 に参加して・アジア・太平洋 YMCA 同盟ユースアンバサダーより

1947 年以来、YMCA は国連の諮問機関としての地位を確立し、今回の COP にはブルーゾーンでオブザーバー資格を持つ 20 名以上の代表を派遣。APAY 代表として派遣された YMCA ユースアンバサダーが COP26 参加の経験を共有。

■フィリピン緊急支援 台風 22 号被害へ緊急支援
2021 年 12 月 16 日、フィリピンは超大型の台風 22 号により数十万人の人々が被災。12 月 22 日付アジア・太平洋 YMCA 同盟緊急支援協力アピールに応え、日本 YMCA 同盟より 2,000 ドルを送金。

■世界の YMCA から届いたクリスマスカード(一部紹介)

2 日本の YMCA のトピックス

■全国各地の YMCA で冬休みにキャンプを実施 (一部紹介)

盛岡 YMCA とちぎ YMCA 横浜 YMCA 名古屋 YMCA 滋賀 YMCA 大阪 YMCA 福岡 YMCA

■第 52 回全国 YMCA リーダー研修会が無事に終了

全国 16YMCA60 名が参加、10 月 17 日～28 日に行われた研修会。最終日にはグループで共に悩み、

見いだした Positive well-being を実現するために「私たち(リーダー)ができること」を共有した。

■オンライン英語キャンプで英語コミュニケーション力を向上

英語で過ごすキャンプ「English Camp for Global Leadership」は2021年12月26日から28日の3日間、昨年に引き続きオンラインで開催。参加者は様々なグローバル・ 이슈に触れ、そこから考えた自分の意見や想いを周りに発信(アウトプット)する勇気と受け入れられる喜びを学ぶ機会となった。

■滋賀 YMCA シドニー・ギューリック「青い目の人形」

1927年、アメリカの S・ギューリック氏と日本の渋沢栄一氏が企画。人形を贈りあった民間交流。時を越えて2021年12月24日 S・ギューリック氏の孫である S・ギューリック 3世より、滋賀 YMCA とヴォーリズ学園に3体の人形贈呈。アフタースクールの子どもたちは人形の歴史を学び人形を歓迎。

■和歌山 YMCA クリスマス街頭募金

12/17JR 和歌山駅西口クリスマス街頭募金実施。寒空下38名ものボランティアが活動に参加した。

■とちぎ YMCA サンタ de クリーン&ウォーク 2021

サンタクロースになってパレードやゴミ拾いをして、街のみんなに子どもの貧困問題や寄付を広くアピールするサンタ de クリーン&ウォーク。栃木県内の NPO や支援団体、ボランティアが参加し運営するプロジェクト。とちぎ YMCA メンバーもサンタになってクリーン&ウォークとちぎコミュニティ基金サイト。

3 日本の YMCA のトピックス

■横浜 YMCA ユースイベント「目に見えない異文化を知ろう！」

フィリピンにルーツを持ちながら日本で生まれ育ち、現在は地元で外国籍の子どもたちの学習支援をしている学生を迎えて、国籍や見た目では判断できない「異文化」について考える。1月22日

■第24回中・西日本 YMCA ユースバスケットボール大会

中日本と西日本地域 YMCA が参加するユースバスケットボール大会は今年24回目を迎える YMCA で生まれたバスケットボールを楽しむ。1月22日~23日開催場所神戸 YMCA ファミリーウェルネス C

■東京 YMCA オンラインで第16回子育て講演会を開催

NHK「すくすく子育て」汐見稔幸氏を講師に「ポストコロナ・これからの時代に向けて！子育てで大切にしたいこと」と題して講演会を開催。変容する社会の中家庭においても子どもとどう向き合うか。1/29

■横浜 YMCA 発達に課題のある子どもたち・青年たちの支援講演会

ゲーム・スマホ依存症治療にあたる臨床心理士三原聡子氏を講師「Digital DETOX スマホやゲームに夢中になる子どもたちに私たちができること」講演会開催。発達に課題のある子どもたち・青年たちが上手にスマホやゲームを使えるようになるためのサポートとは。1/30 湘南とつか YMCA

■全国 YMCA 体力向上キャンペーン

熊本 YMCA 横浜 YMCA 社会環境の変化により、子どもの遊ぶ場所、遊ぶ仲間、遊ぶ時間が減少。それに伴う運動不足は、学習意欲の低下や食事、快適な睡眠の妨げの要因となっている。運動習慣を身につけることにより、幼少期に必要な体力の基礎を作り、生活習慣を整えることを目的に、2022年1月から3月末までの期間に全国でキャンペーンを実施。

日本 YMCA 同盟からのお知らせ

■1月オンライン研修「YMCA 伴走サポートシステム導入オリエンテーション」

12月開催のオンライン研修のフォローアップとして、伴走サポートシステムの導入の流れや、エピソード入力の体験、集計データの活用など伴走サポートシステムの導入イメージをつくる。12月

の研修受講者、研修動画視聴者対象。2022年1月19日10:30-11:30。

■チャリティキャンペーン Amazon「みんなで応援」プログラム

Amazonの「ほしいものリスト」を活用した「みんなで応援」プログラム。クリスマスシーズンには「みんなでサンタクロース」キャンペーンに23YMCAが参画し、全国のサンタクロースからプレゼントが届いた。「みんなで応援」プログラムは、年間を通して支援先に必要な応援物資を贈ることが可能。

■YMCA ピンクシャツデー2022 講演会「ネット社会を生きる子どもたち」

神戸フリースクール代表田辺克之さんを迎え、フリースクールで出会った子どもたちとの経験から、今の社会で困難さを抱えている子どもたちにとって、私たち大人が大切にすべき想いや関わりを一緒に考える。2月7日10:00～12:00。参加費無料。

■Y's×SDGs Youth Action2022 募集中

YMCAとワイズメンズクラブが協働し、SDGsの定める地域課題解決に向けたユースの活動に助成金を提供。2022年4月～2023年1月までの活動、1チーム最大20万円を支援。応募期間は2022年2月10日まで。

■YMCA 東山荘

今年の年末年始家族パーティーには延べ316名が参加。

コロナ禍（2020-21年度）各部でのCS/YMCAサービス活動（聞き取り報告 1/19 現在）

部	実施した事業	延期・中止した事業
北海道部	<p>札幌クラブ： ・チャリティコンサート復活 ・YMCA バザー 「十勝のジャガイモ」販売（十勝クラブと連携） ・以下、「完全予約」個人指導。 ① 親子スポーツ体験（クライミング、トランポリン、スラックライン）、 ② 水泳プライベートレッスン、 ③ クラフト体験、 ④ ビンゴ大会、 ⑤ ゲームコーナーなど</p> <p>十勝クラブ： ・幼保園・保育園合同運動会協力 ・もち米プレゼント ・ナイトフォーラムパネルディスカッション ・</p>	<p>・クリスマスファミリー例会（メンバーに軽食を配送）</p>
北東部	<p>石巻広域： ・3.11 こども文庫の会 ・YMCA ストレッチヨガ</p> <p>仙台4クラブ： ・日本語でプレゼンテーション</p> <p>もりおかクラブ： ・軽トラ市に富士宮やきそば出店 ・盛岡 YMCA チャンピオンズカップ（幼児サッカー大会） ・わかしお石鹸</p> <p>那須クラブ ・墓沼用水探訪&クリーン作戦</p> <p>宇都宮クラブ： ・子どもの貧困撲滅プロジェクト（サンタでクリーン&ウォーク）</p>	<p>・クラブ活動自体が中止のクラブも</p>
関東東部	<p>*部行事（第2回評議会にて） ・バーチャル神田川船の会</p> <p>東京グリーンクラブ： ・特別乗船会、 ・小学校校外クルーズ（学習支援 10 月度） ・チャリティラン ・クリスマスミニオープンハウス</p> <p>江東クラブ： ・カンボジアへ園服寄贈</p> <p>埼玉クラブ：</p>	<p>・1クラブ活動中止 ・リハビリ体操 ・神田川クルーズ（一般） ・歌声ひろば ・学Y連携 ・YMCA フェス ・自治体事業参加 ・クリスマス ・ピースウォーク ・陽春の集い</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・例会場施設を一般開放開始 茨城クラブ：YMCA連携事業 ・チャリティーゴルフ ・チャリティーラン ・まつりつくば（茨城YMCAと共同出店） ・共催バザー：筑波学園教会と茨城YMCAが開催する場合出店 ・インターナショナルチャリティーラン ・チャリティーゴルフ 	
東新部	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸城ウォーク ・親子でガーデニング ・歌声ひろば ・キャロリング・イン・シキタ ・プランター栽培講座（オンライン） ・科学実験教室 ・CS ニュース発行 *チャリティーラン（部を越え、近隣3クラブ連携） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂 ・社会人ボランティア育成 ・地域秋まつり（被災地支援物販） ・市民ボランティア育成講座
あずさ部	<p>東京八王子クラブ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードバンク卓話→寄付、会員登録 <p>甲府クラブ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨YMCAバザー ・チャリティーラン ・お正月遊び <p>松本クラブ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア賞作文コンテスト賞 <p>東京サンライズクラブ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京YMCAチャリティーラン参加 <p>富士五湖クラブ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨YMCAバザー出店（おもちゃ、つり屋さん、木工細工、手作りマスク）売上を寄付、 ・障がい者支援施設作成のビーズマスク、ストラップの売上金を寄付 <p>甲府21クラブ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の七夕まつり出展 ・山梨YMCAバザー、 ・チャリティーオークション→YMCAへ寄付 *チャリティーラン（部を越え、近隣3クラブ連携）	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーキャンプ中止
湘南・沖縄部	<p>横浜クラブ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語スピーチコンテスト <p>鎌倉クラブ（とつかと共催）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイズカップ幼児サッカー 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂 ・高齢者ファッションショー ・You&Iコンサート ・歌声ひろば

	<p>横浜とつかクラブ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字絵本「ユニリーフ」支援、 ・リーダー連携①ゴミ拾いウォーキング ・リーダー連携②ソーラー・シェアリング会社視察 <p>横浜つづきクラブ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災支援 ・保育所等へクリスマスカード・リースを送る ・つながりマスク作り継続中、 ・絵本を楽しむ会（読み聞かせ）準備中 	
富士山部	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀ハガキコンテスト ・ふじのかみ灯りコンテスト（ふじの山紙文化研究会と連携） ・地域行事支援と清掃組み合わせ実施（風祭川祭事の安全祈願） 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチコンテスト ・下田高校と共に社会活動の予定 ・スキー教室 ・サッカー大会

Food, Our Heritage and Culture

Food Story 募集のおしらせ

アジア太平洋地域会長 大野 勉

東日本区理事 大久保知宏

西日本区理事 新山 兼司

ワイズメンズクラブ国際協会アジア太平洋地域では、国際協会設立 100 周年の記念事業として、アジア太平洋地域各国の食文化の情報を集めた Cook Book の編纂を目指しています。東西両区では、海外から入ってきて日本の家庭で変化を遂げた食文化、家庭料理というカテゴリに加えて、次の二つの情報を募集します。

【1】100 周年を祝う気持ちに通じる、日本のお祝い事での食事の情報、“Food Story” を収集します。新年・ひな祭り・端午の節句・七夕・観月という五つの行事の時に家庭での料理の情報を「写真」、その「料理の名前・意味」、その「料理の思い出」、その「主な材料」をお知らせください。写真についてはご自身の撮影したものが望ましいですが、なければ同様の写真を事務局で探しますので、「料理の名前・意味」、「料理の思い出」、「主な材料」のみ、お寄せください。

送信例



- ・伊達巻
- ・鮮やかな黄色をしていて、食べ物の中でも人目をひく色合いであることから「派手な卵焼き」として伊達巻と名付けられたとされています。
- ・お節料理として初めて作ったのが伊達巻でした。アレンジを加えて三層構造のものも作っています。
- ・卵、はんぺん、醤油、砂糖

【2】現在、社会課題となっている「フードロス」「食の安全」の視点で家庭料理を考えてみてください。こんな工夫をすることで、「フードロス」「食の安全」に取り組んでいますという情報をお寄せください。

送信例

「お節料理の時に大量に鰹節、出汁昆布を使用しますが、出汁を取った後の鰹節はフライパンで胡麻と一緒に乾煎りして、フードプロセッサに掛けてふりかけにします。出汁昆布は、細く切ってから醤油、砂糖、唐辛子と煮詰めて、辛子昆布にします。」

「お寄せいただいた” Food Story” は、その一部をアジア太平洋地域版に、全部を国内版の Cook Book に掲載させていただきます。

送信先 東日本区：t.ookubo@hh.fujii.co.jp

西日本区：kawai-kay@mbr.nifty.com

締切り：2022 年 2 月 28 日

[情報提供をお待ちいたしております。](#)

氏名 グループ可	滝口恵子		募集区分：家庭料理
			<input type="checkbox"/> 海外由来で日本育ちの料理 <input type="checkbox"/> 新年 <input type="checkbox"/> 雛祭り <input type="checkbox"/> 端午の節句 <input type="checkbox"/> 七夕 <input type="checkbox"/> お月見 <input type="checkbox"/> フードロス <input type="checkbox"/> 食の安全 <input checked="" type="checkbox"/> その他（郷土料理）
所属	東日本 区		
	東新 部		
	東京多摩みなみ クラブ		
連絡先	Tel		
	E-mail <keiko19610301@yahoo.co.jp>		
料理名	（山形風芋煮）「芋煮」は地域によって味付けや具材の種類が異なる。		
意味	「芋煮」の発祥は古く、1600年代半ばともいわれている。当時、最上川舟運の終点だったといわれる中山町長崎付近は、上方から酒田経由で運ばれてきた荷物の引取がおこなわれる場所だった。しかし、当時は舟が到着したことを知らせる通信手段がなかったため、舟の船頭たちは荷受人が現れるまで何日も待たされることがあり、退屈をしのぐために河原で鍋を囲んで宴を開いていたという。船着場の近くに里芋の名産地・小塩集落があったため、手に入れた里芋と積み荷の棒ダラなどを鍋で煮て食べていたそう。それが現在の「芋煮」のルーツとされる。牛肉を使うようになったのは、昭和のはじめごろからといわれる。（農林水産省 Web より引用）		
思い出	「芋煮」は里芋の収穫期の秋から冬によく食べられている郷土料理の一つ。「芋煮会」といって河原に鍋や材料を持ち込み、家族や友人などと一緒につくったり、運動会や地域行事の後などに野外でつくったりするほか、各家庭でもつくり食べられている。山形県では、「芋煮会」は新年会や忘年会と並ぶ年間行事の一つであり、「芋煮」は県民の団らんに欠かせない郷土料理である。		
材料	材料（4～5人分） 洗い里芋 500g こんにゃく 1枚 牛肉(切落とし) 300g		

	ごぼう 150g しめじ 1パック 長ネギ 1本 水 1リットル ◎しょうゆ 100ml ◎酒 80ml ◎砂糖 大さじ3
作り方	<ol style="list-style-type: none"> 1 里芋をさっと洗い、大きい芋は2等分にします。ごぼうはさがき・しめじはいしづきを取り小分けにし・ネギは斜め切りにします。 2 大きい鍋に水を入れて、里芋を入れて茹でます。里芋から泡が出たら捨ててください。※気になる方は沸騰したら水を交換してください！ 途中でごぼうも入れます。 3 煮えてきたら、こんにゃくを“手で一口大にちぎりながら”加えます。※気になる方は事前に下茹でしておいてください！ 4 しめじと牛肉を入れ、アクを取ります。 ◎で味付けしますが、お好みに加減してください！ 5 里芋が完全に柔らかくなったら、ネギを加えます。ネギに火が通ったら完成。
写真	1.有（添付ファイル、郵送等）、 2.無

